

香葉村 真由美 プロフィール

「まゆみ先生」の名で慕われる元小学校教師。

1993年～2018年 福岡県福岡市小学校の教師

現在：有限会社クロフネカンパニー専属講師

メンタルヘルス協会公認カウンセラー

「国は人がつくる。人は教魂がつくる」という信念のもと、子ども達に様々な授業や取り組みを行っているごくごく普通の熱血先生。

授業や取り組みは、教室の中だけでなく、学校外の時間や場所にも及ぶ。

生徒達からの信頼は厚く、香葉村が受け持つクラスは、「香葉村学級」と呼ばれ、クラス替えのあとや卒業後もその繋がりは強く保たれている。

※教魂は、教えゆく者の魂。これは先生だけでなく、父、母、すべての人を指す

そして2008年に転機が訪れる。

三重県で行われた「第一回先生見本市（現在の「あこがれ先生プロジェクト）」で講師を務め、そのときの話がたくさんの人に感動を与え、全国から講演依頼をうけるようになる。

教育の原点について話す香葉村の講演は、教師にはもちろん、人を育てる立場にある保護者や経営者、管理職の人たちからの支持を得て瞬く間に広まった。

小学校に勤務しながら、公休日に全国各地で講演を行っていた。

その数は次第に増え、2017年の公休日のほとんどを講演活動に費やすようになる。

2018年3月この増加の流れは止められず、自分にしかできないことをという考えのもと退職。

その後、有限会社クロフネカンパニー専属講師として講演活動を行いながら教育機関のコンサルや子ども達の未来を創る団体への支援を行っている。

少しずつ増えた講演も現在では、合計 500 講演、5 万人という数になる。

たくさんの方々に感動を与え、雑誌「メッセンジャー」「月刊誌 致知」「みやぎ中央新聞」「道」「しちだ・教育研究所・子育ては夢育て」などに掲載される。

また陶彩画家・絵本作家（「いのちのまつり」シリーズ）草場一壽氏によるドキュメンタリー映画「いのちのまつり・地球が教室」に出演。

その中では、まゆみ先生と子供たちの「いのちの授業」がたくさんの方々の涙を誘っている。

2017年8月。著書「子どもたちの光るこえ（センジュ出版）」を、出版。

【演題】

- ①子どもたちの光るこえ（講演）
- ②子どもたちの命が教えてくれたこと（講演）
- ③泣いた赤鬼（親子で参加の模擬道徳授業）